



北陸学院
同窓会会報

TOMONI

と・も・に

第 64 号

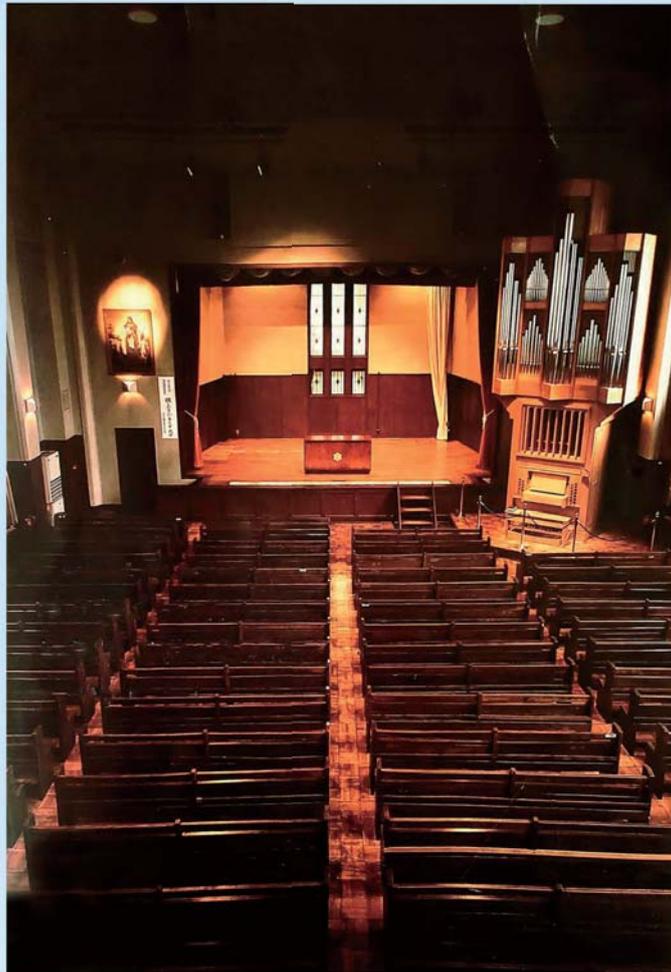
2025年7月

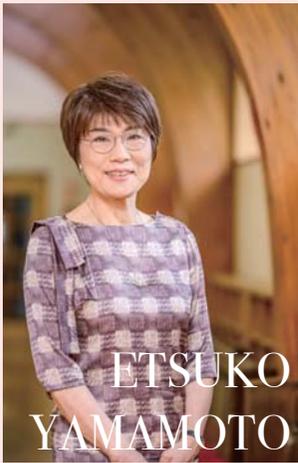
北陸学院
創立140周年



わたしはぶどうの木、
あなたがたはその枝である

(ヨハネによる福音書15章5節)





ETSUKO
YAMAMOTO

2024年度北陸学院同窓会第129回総会で、小崎淳子前会長から次期会長としてご指名を受けました山本悦子と申します。日頃のみなさまの同窓会活動へのご理解とご協力に感謝いたします。

みなさまの「同窓会」についてのイメージは、どのようなものでしょうか。若い頃、私は、「日々の生活を送ることで精一杯なのに、同窓会の活動に参加なんてできない」と思っていました。ところが、同窓会の行事に参加するようになり、その交わりを心から楽しんでいる自分に今びっくりしています。同窓会での先輩・後輩のみなさまとの交わりは、私に“やすらぎ”を与えてくれています。今では、同窓生のみなさまにお会いすることが楽しく、また、一緒に母校の在校生を



創立140周年を祝い、 同窓会で心温まる交わりを

北陸学院同窓会会長 山本 悦子

応援することに使命を感じています。

では、なぜ卒業年度が全く違う同窓生たちが楽しく交わり、やすらぎと居心地の良さを感じることができるのでしょうか。それは、140年間変わらない『ミッションの教育』を受けた者同士だからなのではないでしょうか。年代や校舎が違っても、3年間、あるいは6年間、毎日の礼拝の中でシャワーのように降り注がれた聖書の御言葉、お互いの賜物を尊重し合い、一人ひとりが大切にされた経験、伸び伸びと学校生活を楽しくだミッションでの日々、集まったみなさまから当時の懐かしい薪ストーブのことや先生方のこと、武勇伝などをお聞きするだけで楽しくなってきました。なにもにも代えがたい日々です。どうかみなさまも一緒にあの日々を語り合いませんか。

今年、北陸学院は創立140周年を迎えました。また高等学校は、共学になり20年を迎えました。現在約1000人の後輩たちが、私たちと同じようにミッションの朝を礼拝を守ることから始め、ミッション生らしく伸び伸びと元気に学校生活を送っています。懐

かしい女子のセーラー服も90年間変わらず、この地のシンボリック的存在です。今、北陸学院が直面している現状は厳しいものがありますが、受けた教育への感謝と、母校の後輩たちのため、一緒にミッションを盛り上げていただければ幸いです。ご協力をお願いいたします。

時代に合った新しい同窓会の在り方を、みなさまと共に、新役員一同考えていきたいと願っています。楽しい同窓会へどうか一度ご参加ください。北陸学院同窓会には関東支部、関西支部、東海支部があり、楽しく交わりおられます。みなさまのご連絡をお待ちしています。繋がり方は、従来通りのお電話、ファックスに加え、SNSを使ってもできます。

最後になりましたが、小崎淳子前会長はじめ、旧役員のみなさまに於かれましては、同窓会館の移転という過渡期と、コロナ禍の厳しい10年間をお支えいただいたことに心から感謝と敬意を表したいと思います。ありがとうございました。



「同窓生の集い」での新役員

2025年度 役員及び支部役員

名誉会長	北陸学院学院長 堀岡 満喜子 先生
顧問	北陸学院中学校・高等学校校長 阿部 俊 先生 綱村 淑子 (安井) S30年度卒
会長	山本 悦子 (高桑) S48年度卒
副会長	若林 恵子 (安田) S37年度卒 須加 二葉子 (長田) S39年度卒 北川 章子 (鶴木) S48年度卒
総務	北村 まや (松永) S60年度卒
書記	東 衛美 (高多) H2年度卒 望月 稔子 (宮田) H4年度卒 汐井 理美 H8年度卒
会計	服部 伊都子 (奥田) S48年度卒 大沼 洋美 H1年度卒

宗 教 部	黒瀬 千鶴 (飯久尾) S39年度卒 九良賀野 佳代子 (栗) S49年度卒
会計監査	大村 麗子 (谷) S41年度卒 上出 淑子 (編崎) S48年度卒
能登連絡員	井田 茂美 (井田) S43年度卒

【関東支部】

顧問	田中美智子 (北川) S31年度卒
支部長	倉島 尚美 (朝倉) S38年度卒
副支部長	加藤 幸美 (田中) S36年度卒

会計	久保田 ゆずり (井上) S59年度卒 中 礼子 (安岡) S59年度卒
----	---

庶務	本江 理恵 S60年度卒
----	--------------

【関西支部】

支部長	中村 彩子 S55年度卒 森 郁子 (若林) S50年度卒
-----	----------------------------------

【東海支部】

支部長	八木 寿満子 (西村) S37年度卒
-----	--------------------

今も脈打つバイブルクラス

北陸学院学院長
堀岡 満喜子

昨年2024年度より学院長となり、毎月一度、バイブルクラスのお話をさせていただくことは大きな恵みです。

ここには二つの喜びがあるように感じます。一つは、毎月、お会いすることでお互いを思い励まし合うことができます。私も同窓生の皆様を熱く覚えて、今日もお会いできた！今日はお会いできなかった、どうされているかな…と思いを馳せます。被災地の同窓生、各地の皆様にも心を馳せて祈ります。同時に、大きな励ましをいただきます。学院の現状の苦悩をお話する時、心よりの応援をいただき力が湧いてきます。

もう一つの喜びは、聖書の言葉を一緒に味わうことです。聖書は時に鋭く私たちの問題性を指摘します。「仲間を救えない家来のたとえ」は、多くの同窓生に響いたようでした。自分もまた、この家来のような者だと告白されました。それは誰もがそうであって、悔い改めの思いでキリストの十字架による救いを感謝するのだと思います。その平安



MAKIKO
HORIOKA

と共に味わい、救される以外にない者同士、砕かれた心でお互いを思い合えることは本当に幸いだと感じます。このような心が、ミッションのご卒業生に生き生きと脈打っているのだといつも感動しています。

同窓生の皆様、バイブルクラスはいつも皆様を覚えて祈っています。どうぞ、お元気でいらしてください！

ミッションらしさにこだわって

北陸学院中学校・高等学校校長
阿部 俊



TAKASHI
ABE

この4月から中高の校長を務めている阿部俊です。神戸のミッションスクールからこちらへ来て5年が経ちました。「山が北で海が南」と信じて育った井の中の蛙ですから、金沢では未だに北も南もおぼつかない、そんな新参者です。よろしく願いいたします。

それぞれに素敵な「らしさ」を備えた都市、神戸と金沢。故郷の「らしさ」は、それぞれに所縁ある人たちにとっては誇りでもあります。それ故でしょうか、神戸っ子は「兵庫」と呼ばれることを好まず「神戸」にこだわることがあります。じつはこの5年間で、金沢にも同じ傾向を持つ人が結構多いことを知りました。故郷の「らしさ」を誇りに思うことは、それがどこであろうと、その土地がその人となりを育てた証のひとつでしょう。

このたび、Aoba-BBT社との業務提携により、キリスト教教育という堅固な土台の上に、時代を見据えた国際理解教育を柱とする、新コース設置の準備が始まりました。そう聞くと、「母校が無くなるのでは…」と不安に思われるかも知れませんが、ご安心ください。「柳さくらのあや織る苑」は、スタイルが多少変わってもその本質が変わることはありません。私たちは、学校生活の中心が礼拝であり、バランスの取れた“ひと”を育てる全人教育を目指す、というミッションの「らしさ」にこだわり、皆さまの故郷を誇りに感じていただけるよう全力で努めてまいります。どうか、これまでと変わらずご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

北陸学院は創立140周年、 同窓会は発足130周年を迎えました

北陸3県唯一のキリスト教学校として、
これまで20,000人余りの卒業生を社会に送り出してきた
北陸学院と同窓会が紡いできた歴史を振り返ります。

HISTORY

北陸学院と同窓会の歩み

昭和33年度の卒業式

1883(明治16)年

- トマス・ウィンが愛真学校(男子校)を開校

1885(明治18)年

- メリー・ヘッセルが金沢女学校を開校

1886(明治19)年

- フランシナ・ポーターが英和幼稚園(現:北陸学院第一幼稚園)と英和小学校を開校

1894(明治27)年

- ヘッセル先生追悼式を機に1~5年生27名で金沢女学校同窓会を結成

1899(明治32)年

- 「文部省訓令第12号」により宗教教育が禁止に
- 北陸学校(愛真学校)を廃校

1900(明治33)年

- 金沢女学校を北陸女学校と改称
- 校名改称により北陸女学校同窓会と改称

1903(明治36)年

- 英和小学校を廃校

1905(明治38)年

- 同窓会会報1号を発刊。卒業生69名に配布
- 創立20周年に校章を制定

1908(明治41)年

- 初めての同窓会総会を開催(それ以前は例会、常集会だった)

1912(大正元)年

- 英和幼稚園を北陸女学校附属幼稚園と改称

1913(大正2)年

- 支部を設置。市内各所に市内委員を指名

1920(大正9)年

- 中澤正七先生が校長に推薦され、以降校長及び同窓会会長として活躍

1925(大正14)年

- 同窓会バザーを実施

1935(昭和10)年

- 創立50周年、現在のセーラー服を制服に制定
- 同窓会会報臨時号で創立50周年記念の記念事業への参加を呼びかけ同じく募集していた校歌を選出

1947(昭和22)年

- 北陸学院中学部(61年から北陸学院中学校)が発足

1948(昭和23)年

- 北陸学院高等学部(61年から北陸学院高等学校)が発足

1949(昭和24)年

- 同窓会会報は1942年の30号で途絶えていたが、第31号を復刊
- 北陸女学校を廃止

1950(昭和25)年

- アイリン・ライザーや番匠鐵雄らの尽力により北陸学院保育短期大学が発足

1951(昭和26)年

- 新校舎建設のため、番匠先生が「1ドル献金運動」を提唱。同窓会も協力し献金

1952(昭和27)年

- 高等学部を柿木晶から飛梅町に移転

1953(昭和28)年

- 保育短期大学附属第二幼稚園を飛梅町に新設

1954(昭和29)年

- 保育短期大学附属彦三幼稚園を新設

1961(昭和36)年

- 北陸学院小学校を再興

1963(昭和38)年

- 北陸学院保育短期大学を北陸学院短期大学に改組

1977(昭和52)年

- 短期大学附属鳥が丘幼稚園を新設

1982(昭和57)年

- 同窓会館取得

1992(平成4)年

- 附属第二幼稚園と附属彦三幼稚園を附属ウィン幼稚園に統合

2005(平成17)年

- 高等学校を男女共学化
- 中学校を男女共学化(特別進学コースは2003年から)

2007(平成19)年

- 附属第一幼稚園と同ウィン幼稚園を北陸学院第一幼稚園に統合

2008(平成20)年

- 北陸学院大学(人間総合学部・短期大学部)が開学
- 北陸学院大学短期大学部食物栄養学科、コミュニティ文化学科を男女共学化

2014(平成26)年

- 現同窓会館に移転

2023(令和5)年

- 北陸学院大学が教育学部・社会学部・健康科学部の3学部体制に

●北陸学院の出来事 ●同窓会の出来事



1 高等学校の校舎を建設する様子 2 栄光館の定礎を据える番匠先生(1951年) 3 高等学校を柿木晶から飛梅町に移転する際、生徒自らが荷物を選びました(1952年) 4 桐の木と栄光館 5 完成した栄光館(1952年) 6 中学生によるハンドベル演奏(2015年) 7 栄光館最後の121回総会礼拝(2016年)

北陸学院創立140周年記念同窓会祝賀会 北陸学院同窓会 第130回総会開催のお知らせ 140th Anniversary

北陸学院の歴史は今年140周年を迎えます。同窓会では共に歩んできた歴史を踏まえて、130回同窓会総会と合わせて創立を記念して祝賀会を開催いたします。

振り返れば1894(明治27)年に卒業生(1から5回生)27名で結成され、「女子高等教育の草分けであった金沢女学校、忠君愛国の時局に対応した北陸女学校、戦後の困難から立ち上がった北陸学院、正に激動の百年(同窓会11代会長)」、そして2005年の男女共学から20年を経て、ある時は支援し、ある時は先導として北陸学院同窓会が学院と共に歩んできました。1935(昭和10)年の創立50周年の時には51回生から制服が変更され、校歌が正式に決まったと『女学校と同窓会』(2005年10月21日発行)に記されています。

今年何としても皆様とご一緒に140周年を祝い、この先に向かうエネルギーにしたいとの思いです。

同窓生の皆様、
10月11日(土)に
集まりましょう

日 時

2025(令和7)年10月11日(土)10:30~

〈受付開始〉10:00

〈礼拝・総会〉10:30

〈祝賀会〉12:00

場 所

金沢東急ホテル5F(金沢市香林坊2丁目1-1)

会 費

8,000円

申込方法

同封のはがき、または公式LINEにご登録の上、お申し込みください



公式LINE

締切:9月5日(金)

140年前のリードオルガン修復について

リードオルガンをよみがえらせよう!

歴史を語れば卒業生お一人お一人の価値があり、思いを共にする讃美歌の歌声がありました。この機を逃して歴史的オルガンの修復はあり得ないでしょう。一刻も早く修復がかないますよう活動を始めます。

同窓会には北陸学院より委嘱されているリードオルガンがあります。このリードオルガンは、トマス・ウィン夫人であるライザーのお母様から贈られたといわれるオルガンで、約80年間、礼拝の演奏で使われてきました。しかし、現在音が出なくなり使用できなくなっています。

リードオルガンは、修復に関わる技術者も減少し、高齢化が進み、一刻も早く取り掛かれば修復ができなくなる状況が近づいています。

同窓会では、同窓会創立130年の節目にこのリードオルガンからもう1度美しい音色を取り戻すため、修復に関わる費用について同窓会の皆さまにご寄

付をお願いすることに致しました。リードオルガンの音色が懐かしい方も、1度もリードオルガンの音色を聞いたことがない方も、皆さまのお力で創立当時の音色をよみがえらせてみませんか。リードオルガンの修復は楽器としての命をよみがえらせるだけでなく、歴史や文化の保存にもつながる価値ある作業です。

修復には1年程かかる予定です。音色が取り戻せましたらバイブルクラスでの使用のほか、ミニ演奏会など同窓生の皆さまに聴いていただく機会を設ける予定です。皆さまからのご支援よろしく申し上げます。

※ご協力いただける際は、同封の振込用紙をご利用ください。





自己紹介するバスケットボール部員。東京や愛知、沖縄、ナイジェリアからも集まっています



同窓生の輪の中に、現役バスケット部員も仲間入り。世代を超えて楽しく交流を深めました

同窓会活動報告

全国大会で活躍中の男子バスケットボール部員を迎えて「同窓生の集い」を開催

司会者の軽快なトークが会場を盛り上げた〇×クイズ



身の1年生が2メートルを超えた身長があること、ビデオ観戦で勝った試合の点数当て等、さすが部長のいるテーブルが全問正解と世代を超えたコミュニケーションで盛り上がりました。最後は、讚美歌、校歌を全員で合唱してこの後練習に向かう部員に熱いエールを送りました。初めは緊張した顔もいつの間にか笑顔が輝いていました。次の試合も応援しています。

来年の「同窓生の集い」は2026年5月16日(土)です。

2回目の同窓生の集いを、5月10日(土)北陸学院高校の男子バスケットボール部員9名と顧問の濱屋先生、能谷先生、OB酒井選手(金沢武土団・サムライズ所属)をお迎えして開催しました。バスケットボール部員の自己紹介では県内外・ナイジェリア出身の2人もいて、共に試合をビデオ観戦している間も、シュートが決まった時応援がエスカレートするワクワク感を体験しました。

各々9つのテーブルに分かれバスケットボール部員とともに行ったクイズでは、ナイジェリア出

2024年度部・同好会活動支援金の使途報告

- ✓ 皆様からお寄せいただいた活動支援金を使い、陸上競技部にトレーニングマシンを寄贈しました。引き続きご協力をお願いいたします。
- ✓ 現在もたくさんの部・同好会が活動し、よい成績を収めています。

同窓会では毎月1回バイブルクラスを開いています。堀岡満喜子学院長が聖書の内容をわかりやすく解説して下さいます。聖書を読み、讚美歌を歌って、なつかしい学生生活へタイムスリップしてみませんか。クラスの後は学年、世代を超えてお茶のひと時を持っています。事前の申し込みはいりませんので是非一度気軽なお気持ちでお越し下さい。お待ちしております。

参加者の声

昨年の会報でバイブルクラスを知りました。聖書の勉強会?と思いながら行ってみると、堀岡学院長のわかりやすい聖書の解説で、学生時代とはまた違った気持ちで聞くことができました。今では月に1回の楽しみな時間になっています。

2025年度北陸学院同窓会バイブルクラス日程

2025年9月～2026年8月

■ 場所	2025年
同窓会館(13時30分～)	9月 8日(月)
	11月 17日(月)
	12月 8日(月) クリスマス礼拝*
■ お話	2026年
学院長 堀岡満喜子先生	2月 16日(月)
	3月 16日(月)
	4月 20日(月)
	5月 18日(月)
	6月 22日(月)
■ 参加費	7月 6日(月)
500円	

※駐車場がありませんので、公共交通や民間駐車場をご利用ください。

※クリスマス礼拝は準備の都合上、事前に参加をお知らせください。

ようこそ
バイブルクラスへ
Bible Class



皆さまの「令和6年能登半島地震・豪雨災害義援金」へのご支援ありがとうございます

被災地支援活動報告



Activity Report

お寄せいただいた義援金は、北陸学院大学被災地支援センターを通じ、輪島市門前町の復旧活動に活用させていただきます。現地での活動の様子をご報告いたします。



輪島市門前町深見地区にて

「ほっとけない」思いが紡ぐ復興の糸

田中 純一 教授(北陸学院大学社会学部社会学科)

北陸学院大学被災地支援センターは地震発生直後から避難所運営補助、被災家屋からの家具類の運び出し、支援物資の配布などを行ってきました。これまで輪島市、珠洲市、能登町、穴水町で活動してきましたが、継続して訪れているのは地震と豪雨の二重被害を受けた輪島市門前町です。週末や長期休暇を使い、令和7年3月末まで、延べ50回を超えるボランティア派遣を実施してきました。

ボランティアには本学院の生徒、学生、卒業生、教職員、県外の大学生らがその都度「ごちゃまぜ」チームを編成し能登へと向かいました。参加者を突き動かしたのは「ほっとけない」「何か力になりたい」といった純粋で、しかし強い思いでした。

一人のボランティアができることなどちっぽけなものかもしれませんが、しかしそれが重なり、継続するとき、被災した住民の背中を押す力になる印象的な瞬間を何度も目にしました。門前町のAさん(女性)は地震で自宅が半壊。大工さんに修繕を依頼し、ほぼ目処がついた9月に自宅を豪雨が襲いました。胸の高さまで泥水が入り込んだわが家を目の当たりにしたAさんは「もうここには戻らない」と一言言った後、地面に泣き崩れました。翌日からボランティアによる泥だし作業が行われました。取り除いても取り除いても減ることのない大量の土砂に、誰もが無力感を感じていました。そんな泥出し作業をひと月あまり続けたときのことで、諦めたはずのAさんが「やっぱりここに住む」と言ってきたのです。理由を聞くと「これだけボランティアの人たちが手伝ってくれたんだもの。やり直せる気がしてきた。私、やっぱりここで暮らしたい」そう話してくれたのです。小さな力の重なりは、住民が「暮らし続けたい」という希望を湧きあがらせたのです。

地震から1年4ヶ月が過ぎましたが、復旧の遅れに加え、時間の経過とともに住民ニーズは複雑化、多様化、潜在化しています。だ

からこそ、住民一人ひとりの復興を支えるたて糸、よこ糸が不可欠です。北陸学院大学被災地支援センターでは、2025年度も引き続き支援活動を継続します。

輪島市門前町深見地区での海岸清掃の様子。お昼には地元の方が、おにぎり、採れたての海藻入りのお味噌汁、おはぎを準備してくださいました。



募金へのご協力をお願い



北陸学院同窓会では引き続き募金活動を続けてまいります。わずかな金額でも構いません。継続的な支援のためにご協力をお願いいたします。ともに能登の復興を支えましょう。

※ご協力いただく際は同封の振込用紙をご利用ください。

支部だより

世代を超えて共感を呼ぶ まきストーブの思い出

関東支部

倉島 尚美 (朝倉) S38年度卒

2025年5月17日(土) 13:30-16:00、今回は「東京池袋教会」を会場にして、開催することができました。礼拝堂において、讃美歌、聖書、祈りをささげ始めました。支部活動報告、会計報告を皆様にご承認していただきました。本部より、山本悦子会長、須加二葉子副会長に金沢から出席していただき、学院の現状、オルガン修復などの報告を伺いました。

総会後は、集会室において、15名の参加者と楽しいひとときを過ごすことができました。創立140周年ということもあり、学校生活の経験談が多く、懐かしく、時代は違いますが、「そう、そう」と共有することができました。ちなみに多かった話題は「まきストーブ」の思い出でした。外はシトシトの雨でしたが、笑いで盛り上がり、室内に大きな花が咲いたようになり、楽しいひと時でした。

関東支部としても、これから取り組まなければいけない課題もありますが、今年も開催できたことに感謝をし、元気に校歌を歌い閉会となりました。「来年も会いましょうね」との声があちこ

ちから聞こえてきました。

なお、皆様から、来年の日程を決めておいたらよいのではなにかとの前向きな意見があり、2026年5月23日(土)に予定しています。ぜひ、この日を覚えて、お知らせに伝えていただければ嬉しいです。

● 関東支部連絡先：kantosibu.mission@gmail.com

楽しいおしゃべりに 大輪の花が咲く

関西支部

中村 彩子 S55年度卒

まだまだ暑さが残る2024年10月24日(木)、同窓生13名と本部より山本悦子現同窓会会長、総務 北村まやさんにお越しいたいただき、関西支部同窓会を開催いたしました。

当日は、今回初めてご参加の方も皆で、楽しいおしゃべりの大輪の花が咲きました。

今年は10月16日(木)に予定しております。近畿地方に限らず広く西日本にお住いの方、ぜひお越しいただければいいなあと皆で思っております。

● 関西支部連絡先：ayadoremfisol@gmail.com



バザーに行こう！

8月30日(土)

時間/11:00-14:00

会場/同窓会館(金沢市飛梅町1-10) ※駐車場はありません

物品の献品にもご協力ください

掘り出し物満載のバザーにぜひご来場ください。準備のお手伝いをしてくださる方も大歓迎です(8/28午後、8/29午後、8/30当日)。お誘い合わせの上、ご参加ください。

● 物品販売・軽食喫茶(当番学年：S58年度、S59年度卒業の方々)

Coffee Ticket

コーヒー1杯 無料券



本誌かスマホで撮影した
チケットをご提示ください

事務局からのお知らせ

- 住所変更・改姓などの連絡事項がありましたらお知らせください。
- 同窓会館は毎週月・水・金曜日の午後1時から4時まで開いています。お近くにいらした際はぜひお立ち寄りください。

同窓会費、部・同好会活動支援金納付のお願い

同封の振込書にて納付してください(随時受け付けております)。

同窓会費

1年分/1,000円
(何口でも可)

部・同好会活動支援金

1年分/1,000円
(何口でも可)

《振り込み口座》

ゆうちょ銀行
00710-1-6855
北陸学院同窓会



ともい

北陸学院同窓会館

〒920-8563 金沢市飛梅町 1-10
TEL 076-261-1868 FAX 076-261-2268
《Eメール》 hsdoso@hokurikugakuin.ac.jp



公式LINE



Instagram



Facebook

●発行責任者 / 山本悦子